

~~~~~  
雑報  
~~~~~

ハレー彗星とジャコビニ・シンナー彗星のランデブー
 ハレー彗星は、10月15日現在で予想光度よりもかなり暗く、世間の期待もむなしく、なかなか明るくならない。1985年9月14日前後に、天球上で、すぐそばを別の同期彗星ジャコビニ・シンナー彗星が通過した。その様子が東京天文台木曾観測所 105 cm シュミット望遠鏡

で撮影された。II_aO 乾板に GG385 フィルターを使用し、露出は、1985年9月14日3時4分から20分間である。表紙の写真は渡辺敏夫氏によって、元の乾板の淡い部分を強調するために、コントラストエンハンスメント法という特殊な処理がなされている。

ジャコビニ・シンナー彗星は、動きが速いので、20分露出の間に写真の上で、ほぼ南北(上下)にかなり動いている。また中央部にある散光星雲は NGC 2174~5 である。
 (山縣朋彦)

天体観測雑誌

天文ガイド

1月号 定価420円+75 12月5日発売

ハレー彗星関連のものなど気になる
1986年の流星群の観測条件
 斎藤馨児先生の解説
ジャコビニ流星群の大出現
 ソ連のロケットと判明
10月8日に落下した人工天体の報告
 鹿児島・内の浦にある宇宙空間観測所
シュミット望遠鏡でハレー観測
 ●新しい望遠鏡光学系 ●1月の星空
 ●天文学とコンピュータ…など情報満載
 ハレー彗星の話題で、新聞やテレビも大変にぎやかになってきました。天文ガイドでは、これからも毎月最新情報をおとどけしていきます。お見逃しのないように！

誠文堂新光社

東京都千代田区神田錦町1-5
 電03(292)1221 振替東京7-128

天文年鑑 1986

天文年鑑編集委員会編

1986年は天文現象の当り年！ハレー彗星の地球接近、皆既月食、好条件のみずがめ座流星群やペルセウス座流星群、火星の大接近、火星食、アンタレスの食、水星の太陽面経過など、様々な現象が待っています。これらを詳しく紹介するとともに、毎月の観測ガイドや惑星の位置、ハレーに関する情報、人工天体など天体観測に欠かせない最新データを満載。

11月下旬発売 B6・162ページ・予定価520円

テスクワードに欠かせない
ワイド版 天文年鑑1986
 大きく見やすいB5判・12月下旬刊・予定価1000円

1985年9月の太陽黒点 (g, f) (東京天文台)

1	1,	1	6	0,	0	11	—	—	16	—	—	21	—	—	26	0,	0
2	0,	0	7	0,	0	12	0,	0	17	1,	2	22	—	—	27	—	—
3	0,	0	8	—	—	13	0,	0	18	—	—	23	—	—	28	—	—
4	0,	0	9	0,	0	14	2,	5	19	1,	13	24	—	—	29	—	—
5	0,	0	10	0,	0	15	—	—	20	1,	7	25	—	—	30	1,	2

(相対数月平均値: 4.2)

昭和60年11月20日	発行	人	〒181 東京都三鷹市東京天文台内	社団法人	日本天文学会
印刷発行	印刷所	人	〒162 東京都新宿区早稲田鶴巣町 565-12	啓文堂	松本印刷
定価 450 円	発行	所	〒181 東京都三鷹市東京天文台内	社団法人	日本天文学会
			電話 三鷹 31局(0422-31) 1359	振替口座	東京 6-13595